



出張講座

飯田短期大学

令和7年度

教育/福祉/栄養/保育/看護

高校編

教員紹介

生活科学学科
生活科学専攻



教授 三浦 弥生



教授 田中 洋江



准教授 澤田 有香 非常勤講師 安富 和子



生活科学学科
介護福祉専攻



教授 太和田 雅美



講師 小川 晃美



助教 田部 一順

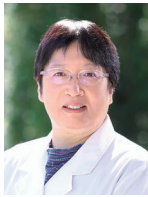


助教 宮島 彩

生活科学学科
食物栄養専攻



教授 友竹 浩之



准教授 高木 一代



講師 富口 由紀子



助教 岩瀬 彩香

幼児教育学科



教授 菱田 博之



准教授 松永 幸代

看護学科



教授 鈴木 真由美



教授 西村 理恵



准教授 畠田 盛光



准教授 塩澤 綾乃



講師 中山 美香



助教 平井 義一

出張講座のご案内

飯田短期大学では、本学教員が高等学校に向向いて高校生向けに講義を行う「出張講座」を実施しています。短大での授業の雰囲気や専門的な分野の内容を体験することによって、知識の向上はもとより進路選択の契機として活用していただくことを目的としています。この「出張講座」を総合学習の授業、進路指導の一環として積極的にご利用いただければ幸いです。



生活科学学科 生活科学専攻

体のしくみと健康

知っているようで知らない「体のしくみ」。健康を考えるうえでも自分の体に興味を持つことは大切なことです。人体模型をみたり、測定値で自分の体を確認したりしながら楽しく学びましょう。内容はご相談に応じます。

講師 三浦 弥生

申込NO. 生活-01

かんたん布ブローチ <制作>

布を丸く切り、くるみボタンのパーツにはめて、ブローチ・アクセサリを作ります。どのような布がよいか事前に打ち合わせで選んでいただけます。(例：旅するブローチ - インド、クリスマス、思い出の布など)

講師 田中 洋江

申込NO. 生活-03

幸せな人間関係のつくりかた

より HAPPY な生活を送るために、どんな人間関係にでも使える選択理論心理学を楽しく学びます。



講師 澤田 有香

申込NO. 生活-05

高校生のスポーツと歯のはなし

～アスリートも歯が大事～

スポーツ選手はここぞというときにぐっと歯を食いしばり頑張ります。ところがむし歯や歯周病にかかっていると、最大限に運動能力を発揮できません。知って得する歯のお話です。

講師 安富 和子

申込NO. 生活-07

染・織・フェルト <制作>

①染め（絞り染、摺込）②織り（平織、綴織）③フェルト（原毛で平面・立体をつくる）からご希望の内容を事前に講師と打ち合わせ、講座の内容、材料費、所要時間を組みます。 ※①②は、実施会場が飯田短期大学となります。

講師 田中 洋江

申込NO. 生活-02

姿勢教室

～あなたの姿勢の知識は大丈夫？
姿勢チェックしてみよう～

悪い姿勢は万病のもとだけれど、姿勢って意識して良くできない!? 姿勢をケアするとパフォーマンスもアップ! 姿勢のお話と、簡単な姿勢チェックの仕方を学びます。

講師 澤田 有香

申込NO. 生活-04

高校生のための歯のはなし

～歯周病とお口のエチケット～

今、若者の口腔衛生状況が悪いことが問題視されています。あなたのお口は大丈夫ですか。一生自分の歯でおいしく食べられるよう、高校からの歯の健康がとても大事です。

講師 安富 和子

申込NO. 生活-06

生活科学学科 介護福祉専攻

車イスに乗ってみよう

様々な種類の車イスに触れながら、利用者への適合を考え、実際に車イスに乗り坂道や段差などを体験してみましょう。利用者が安心して安全に移動できるような介助の方法を学びます。

※このテーマについては、実施会場が飯田短期大学となります。

講師 太和田 雅美・田部 一順

申込NO. 介護-01

福祉の仕事ってどんな仕事？

これからの日本になくてはならない福祉の仕事について、具体的内容やその魅力をお伝えします。「人の幸せを運ぶ仕事」の魅力にせまります。

講師 太和田 雅美 他

申込NO. 介護-02

アイマスクをして街を歩いてみよう

見えない、見えづらいということは、生活していく上でどのような不便があるのかを理解して、視覚障害を持つ方への介助の方法と関わり方を学びます。

講師 太和田 雅美・田部 一順

申込NO. 介護-03

年をとるってどういうこと？
体の変化について

福祉体験に行く現場では、個人差はありますが「若い」によって、からだの機能が低下します。白髪や腰が曲がるといった外見上の変化を含め、どのように体が変化するのかを知る機会になればと思います。

講師 小川 晃美・宮島 彩

申込NO. 介護-05

高齢者（白内障、片麻痺、耳栓）の世界を体験しよう

高齢者体験を通じて、年齢を重ねるとどのように身体が変化するのかを疑似体験し、高齢者にとって生活するうえでの不便さを知り、介護の方法を学びます。

講師 太和田 雅美 他

申込NO. 介護-04

転ばない体を作る介護予防

いつまでも健康で長生きするために、運動器（筋肉・骨・関節など）を鍛えることは大切です。歩行能力やバランス能力を高めるために足腰の筋力アップについて楽しく学びます。

講師 小川 晃美 他

申込NO. 介護-06

心の活性化を目指したアクティビティ

介護福祉施設で行われているアクティビティの意義と、高齢者の心がわくわくするアクティビティ実践の方法を体験しながら学びます。

講師 太和田 雅美 他

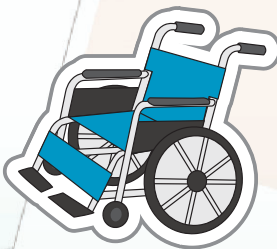
申込NO. 介護-07

高齢者とのコミュニケーション

福祉現場で出会う利用者さんは、まだまだお元気な方から介護を必要とする方まで様々であり、普段あまり接することがないと思います。そのような方々とのコミュニケーションの方法をお話します。

講師 太和田 雅美 他

申込NO. 介護-08



出張講座のお申し込み、お問い合わせはP7をご参照ください。

生活科学学科 食物栄養専攻

食事と健康

毎日の食事は、成長や健康維持に深く関係しています。食事を管理するには、どのようなことに注意しなければならないかを知ることが大切です。また、食べる量は個人によって違うので、体重、体脂肪、筋肉量などを定期的に測定し、それらを目安に自ら考えることが重要です。本講座では、成長や健康維持のために必要な食事のポイントについてお伝えします。

講師 友竹 浩之

申込NO. 食栄-01

食べ物と健康の基礎実験

お茶のタンニンやトマトのポリフェノールなど、食品成分を簡単な方法で分析して、食品の栄養特性や健康機能を理解します。必要な試薬や器具は持参します。

講師 友竹 浩之

申込NO. 食栄-02

災害時の食事
バッククッキング体験講座

バッククッキングは耐熱性のポリ袋に食材を入れて湯煎で温めて調理する方法です。身近な食材を使って災害時の食事を体験してみませんか。
※90～120分程度・講師と助手、2名で伺います。

講師 高木 一代（防災士）・助手1名

申込NO. 食栄-03

世界の栄養問題から
国際協力について考えよう

世界の栄養問題とその解決策についてゲームを通して考えながら、SDGs達成に向けた国際協力における実践例について学びます。
※40名程度

講師 富口 由紀子

申込NO. 食栄-04

成長期における
運動選手の栄養と食事

運動部に所属する生徒や選手をサポートしている生徒に対して、運動における食の重要性や具体的な食事の摂り方についてお話しします。

講師 岩瀬 彩香

申込NO. 食栄-05

幼児教育学科

男らしさ 女らしさを越えて
人と対等に付き合うために

「男だから」「女だから」と言われたりして、モヤモヤしたことはありませんか？性別に関係なく、誰もがいきいきと生活できる社会への関心が高まっています。心理学の教員と一緒にモヤモヤの正体について学んでみませんか？

講師 菱田 博之

申込NO. 幼教-01

絵本でSDGsを知ろう

SDGsとは、全世界共通で達成する「持続可能な開発目標」。多様性のある社会実現に向けた17のゴールが設定されています。まずは、絵本からのメッセージを見つけてみませんか。
※11月・12月以外で対応可

講師 松永 幸代

申込NO. 幼教-03

コミュニケーションについて、
遊び（ワーク）を通じて

「こころ」は「ことば」よりも古くから人に備わっています。「ことば」があることで、逆に様々な問題が起こっている今日このごろ、コミュニケーションゲームを通して「ことば」に頼らないコミュニケーションや「こころ」のあり方について学んでみませんか？※学年集会・実習指導者研修等でご活用ください

講師 菱田 博之

申込NO. 幼教-02



がん教育を考える

～子宮頸がん体験者として伝えたいこと～

「生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測されるがんは重要な課題。国民の基礎的教養として身に付けておくべきもの」と言われて久しいがん教育と一緒に考えませんか。

※性別は問いません

講師 鈴木 真由美

申込NO. 看護-01

コミュニケーションの基本を学ぼう

コミュニケーションの基本は人対人です。基本であるスキルや考え方を学ぶことで、毎日が大きく変わる?かもしれません。

講師 鈴木 真由美

申込NO. 看護-02

体の不思議を学んでみよう!

私たちが生きていられるのは、体に取り入れた酸素や栄養素のおかげです。それらを運ぶ役目を担うのが心臓です。なぜ?何?から考える体の神秘に関する講座です。

講師 鈴木 真由美・平井 義一

申込NO. 看護-03

統合失調スペクトラム症の理解と付き合い方

現在は統合失調症と呼ばれ、知覚や思考に混乱を生じた状態になる病気です。そのため、行動や気分、対人関係に様々な影響が出現します。100人に1人が統合失調症に罹患すると言われ、決して珍しい病気ではありません。早めに治療するほど症状が重くなりにくいといわれ、早期発見と早期治療が大切です。この病気の特徴や症状を知ること生きづらさを共感し、メンタルヘルスについて一緒に理解を深めましょう。

講師 鳥田 盛光

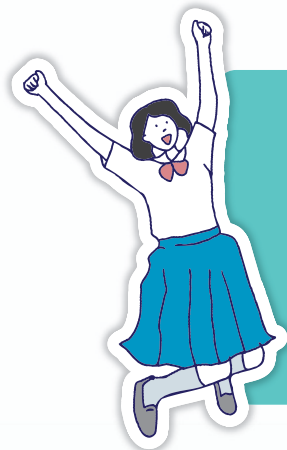
申込NO. 看護-05

この他にも・・・

分野別説明会の実施も可能です。

教育/福祉/栄養/保育/看護

分野の詳細や職業に関することなど、探求学習や進路学習、キャリア教育の一環として実施をご検討ください。



出張講座申込書

高校編

飯田短期大学
広報課 行

FAX | 0265-22-4474

MAIL | nyuushi@iida.ac.jp

出張講座(高校編)申込書

申込日 年 月 日

高校名	〒			ご担当者名	
ご住所	—				
	電話			FAX	
受講対象者	☐ 高校1年 ☐ 高校2年 ☐ 高校3年			受講者数	名
ご希望講座 (申込NO.)	第1希望				
	第2希望				
	第3希望				
実施希望日					
通信欄					

飯田短期大学 広報課 TEL : 0265-22-9700 / FAX : 0265-22-4474 / MAIL : nyuushi@iida.ac.jp

出張講座のながれ

ご希望の講座を選択

出張講座申込書に必要事項をご記入のうえ FAX またはメールにてお申し込みください。

内容の確認

後日、飯田短期大学より内容確認のためご担当者様へご連絡させていただきます。

日程など調整

日程や内容について担当講師と調整し、ご担当者様へご連絡させていただきます、確定となります。

実施

ご注意事項

- ・講座はすべて無料(講師代・交通費)ですが、材料費、教材費は実費をいただく場合があります。
- ・講座の時間は、概ね60分～90分程度としております。(高校の授業時間に合わせてご相談に応じます。)
- ・講師の都合がつかない場合もありますので、できるだけ第三希望までご記入ください。
- ・授業や行事などの関係でご希望に添えない場合はご了承ください。
- ・受講者に大学からリーフレットの配布やアンケートをお願いする場合があります。
- ・調整期間が必要ですのでお早めにお申し込みください。

お申し込み・お問い合わせ



学校法人 高松学園

飯田短期大学

広報課 〒395-8567 長野県飯田市松尾代田610

TEL. 0265-22-9700 FAX. 0265-22-4474

MAIL. nyuushi@iida.ac.jp

